

# 豊成地区の おすすめスポット

1) 水神社・国宝について

2) 小沼神社について

3) 十六沢城址について

# 1) 水神社・国宝について

秋田県には、唯一の国宝「線刻千手観音等鏡像」通称、御神鏡

(みかがみ)があります。そして、御神鏡は豊成地区にある「水神社」で大切に保存されています。

御神鏡は昭和二十八年再度国宝の申請がなされ、専門家の調査によって国宝の指定を受けました。

鏡の中央には、沢山の手を持った女神様が線刻されています。

この御神鏡は今でも大切に守られ続けています。



## 2) 小沼神社について

小沼神社は、秋田県大仙市豊岡小沼集落の小沼山（海拔260m）の山頂にある山間四面の神社です。

老杉に包まれた山頂には1000㎡程の峰沼があり、昔は沼に反り橋があり、真言宗の寺があったと記録に残されています。沼に北側には南向きの社殿があり、平安時代の作といわれる、大人の背丈ほどの2体の観音像（秋田県指定文化財）と鎌倉時代の木造僧形頭部（秋田県指定文化財）のほか、大仙市指定文化財の獅子頭、極彩色の美しい色彩厨子などが大切に祀られています。なお古い白岩街道や仙北平野が一望できる参道の途中には、小沼神社の歴史を偲ばせる阿吽の2体の仁王像を安置した山門があります。



### 3) 十六沢城址について

十六沢城は宮藤六兵衛尉藤原正重（正種）の居城として知られています。1212年（建暦2年）、白岩城主・白岩善衛門によって攻略されると、以後はその支城として使われました。その後、1354年（正平9年）に白岩城が角館城主・戸沢盛安によって攻められ落城すると、戸沢氏の属城となりました。現在城址は「県民憩の森公園」として整備されており、横堀や連続豎堀などの遺構を確認することができます

ご覧いただきありがとうございますございました。

私たちが紹介した豊成地区のおすすめスポットに少しでも興味を持っていただけると幸いです。

豊成地区以外にも、秋田県のいいところはたくさんありますので、是非見に来てください。

笑顔でお待ちしております。